

平成 24 年 5 月 15 日

各 位

会社名 株式会社富士テクニカ宮津
代表者名 代表取締役社長 和久田 俊一
(JASDAQ・コード 6 4 7 6)
問合せ先 企画部長 伊藤 仁
電話番号 0 5 5 - 9 7 7 - 0 4 0 1

「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日発表の「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」におきまして、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、「継続企業の前提に関する注記」につきましては、「平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」において既に記載を解消しております。

記

当社グループは、平成23年3月期連結会計年度において、営業損失2,887百万円、経常損失2,920百万円、当期純損失を4,757百万円計上したほか、平成24年3月期連結会計年度においても引き続き損失計上を見込んでいたため、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりました。

そのため、当社は、平成22年9月に㈱企業再生支援機構から支援決定を受けた事業再生計画に基づき、資本増強による財務体質の改善に加え、㈱宮津製作所との事業統合等による過剰供給構造の改善、受注採算管理体制および原価管理体制の強化による利益の確保、設計工程の最適化や㈱宮津製作所との統合シナジー等による製造原価の低減、間接経費の削減に努めて参りました。

その結果、平成24年3月期連結会計年度において、一時的な費用を主因として当期純損失269百万円を計上したものの、営業利益117百万円、経常利益238百万円を計上したことや中長期的な事業基盤および財務基盤に鑑み、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消いたしました。

今後におきましても、業績の向上及び企業価値の増大に努めてまいり所存でございますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上